声

各期の情報を寄せて頂きました。

今こそ人の輪を

佐藤　良一（高21回）

今年の6月16日で新潟地震から50年になる。当時は、まだ中学生、午後の授業が始まった頃だった。グランドに避難した。えんま市の金魚すくいの水が余震の度に大きく波打ち外にこぼれていたのを思いだす。

それから、中越地震、中越沖地震、柏崎も大きな被害を受けた。旧市街には家を取り壊した後の空き地が目立ち、古くからの商店も一軒また一軒と廃業が伝えられる。そして東北大震災。原発が同じように立地する柏崎で住民は多かれ少なかれ何らかの不安を抱いているのではないだろうか。

最近、地方の自治体の将来を厳しく指摘する報告が見られる。特効薬などないが、地方にこそ地域に根ざした人の輪が求められるのでは。

昨年のえんま市に高21回同期会が開催された。遠く大阪・静岡など県内外から80余名が出席。現役で活躍のもの、すでに悠々自適のものそれぞれ。産文での一次会に引き続き夜の更けるまでスナックで青春歌謡を歌うおじさん達の姿があった。

今年は、高21回最後の当番幹事。講演会には、同期の安達文幸君をお願いしています。多くの皆さんの参加を期待します。

還暦記念の「スターマイン」

感激の同期会

山田　秀（高24回）

私たち高24回卒は、毎年有志を集め、ぎおん柏崎まつりに花火を上納しています。

昨年は還暦記念、幹事一同大張り切りで、四方八方手をつくした結果、百五十万円のベスビアス大海中空スターマインを上げることができました。中央海岸にブルーシートで七二畳分の特設桟敷を造り、多方面から集まった五十人余で盛大に同期会を開催しました。

旧交を温める者、初めて会話する男女などそれぞれが互いを愛しみながら、懐かしい日々を振り返ることができました。過去への思いが次第に深まりそうになった頃合いに、私たちの大花火が色鮮やかに顔前に広がり、眼は釘づけになりました。歓声を上げながら見合わせた顔と顔はそれまでと違って本当に生き生きとしていました。良かったと口々に言い、ブルーシートは感激に包まれました。

花火を上げて良かった。そんな同期会でした。また会おう、その時はどんな設定が似合うだろうかとの思いが浮かびました。

元気な顔を見せて下さい!!

中村　藤浩（高30回）

毎年八月第一土曜日と云えば、創立一二〇周年に向かって、さらなる発展を続ける我が母校の「記念文化講演会」と「総会懇親会」が開催されます！

毎年、多彩な講師をお迎えしての「講演会」、そして、懐かしい恩師をお迎えしての、先輩から若手まで集う「懇親会」！

最後の旧校舎で学んだ我が「高30回」も、50才半ばとなり、各々の会社や職場で、リーダー的な存在となり、また、業界や社会での中心的な存在として、ご活躍の事と存じます！

こうした中、「高30回」は、同窓会の当番幹事を務めさせて頂く事となりました。精一杯、務めさせていただきたいと存じます。

「百聞は一見にしかず！」多忙な毎日を過ごしているかと存じますが、都合をつけて、同窓会に「元気な顔」を見せて下さい。

しばらく、全体で集まる会ができないでいる「高30回」ですが、還暦の際には、先輩方を見習って「祝う会」を、是非とも実現したいと思っております。健康第一に、各位の益々のご活躍を心よりご祈念申し上げ、心優しい同窓生と、杯を酌み交わす日を楽しみにしております。

柏崎郷土物語（9）

岩下　正雄（高16）

柏崎・刈羽の戦国時代 前橋を支配した北条氏

鎌倉時代以来佐橋庄の地頭である南条の毛利氏がわかれて、既述のように鵜川流域を支配した北条氏、鯖石川流域を支配した安田氏を名のりました。安芸の毛利氏と同族です。毛利氏は鎌倉幕府創建時の政所別当大江広元に始まります。広元が相模国毛利庄を所領したので、毛利氏を名のりました。北条毛利氏が越後に入国したのは、上杉氏より古く守護代長尾氏にも、ある種のプライドがあり、臣従したり、背いたり処世はさまざまでした。

北条氏は上野国厩（うまや）橋（群馬県前橋）城代として関東留守役を務めています。それは、上杉謙信が関東管領としての職責をはたすため、たびたび関東に出兵していたため、拠点が必要だったからです。小田原城、武蔵松山城、上野館林城攻め等、何度も関東へ出陣しています。

北条氏の居城は国道252号線北条駅の西側、山よりの旧道沿いにありました。「一遍上人絵詞伝」で有名な専称寺。この絵詞伝はすでに失われた原本の系統といわれ、全国的に貴重なものです。又、普広寺には妙法蓮華経如来寿量品、大般若経の一部が残されています。この専称寺、普広寺が北条城の大手、搦手といわれています。城跡は春日山城を小さくしたような立派な山城でした。

北条氏は一時小田原北条氏につき、後におきる謙信の跡目争いでは、小田原から養子に入った景虎を支持し、御館の乱に勝利したもう一人の養子上杉景勝によって越後国内の所領をすべて失い、当主高広は以後甲斐の武田氏に属することになりました。安田毛利氏は景勝側につき、以後家名をたもちます。

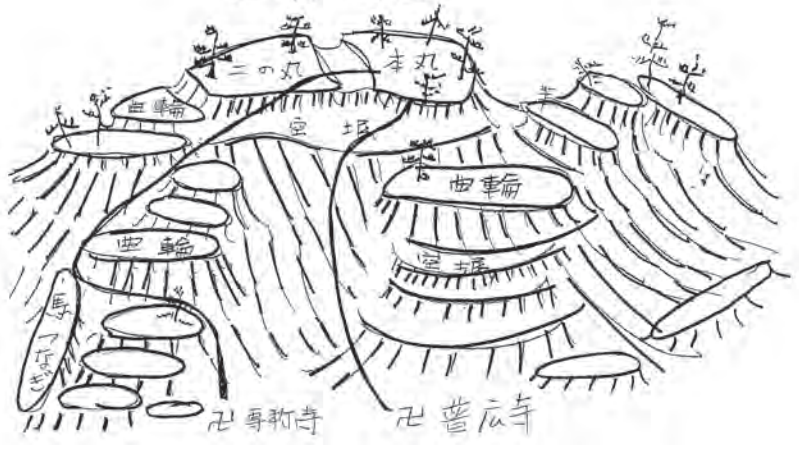
赤田城主　斎藤朝信

刈羽赤田城は斎藤氏の居城です。斎藤朝信は上杉謙信の家老（奉行人）の一人で、前述の北条高広ら他の奉行人と連名で、町、寺社に対して多くの制札を出しています。又謙信に従い関東、小田原、川中島、北陸、能登等へ出陣し、戦功をあげました。赤田町方がその城下であったと考えられます。ここに赤田城もありました。上町、中町、下町、裏町、中屋敷等の地名が残っています。謙信配下の数ある武将のなかでも、斎藤下野守朝信は赤田千挺槍で勇名をはせました。甲斐の武田家の赤備え、筑前黒田家の黒田面包衆等、戦国時代の勇将には、異名があります。

天正十二年（一五八四）朝信は織田軍との越中魚津の戦いで戦死しました。今は赤田東福院に静かにねむっています。

仏教信仰

戦国時代をほぼ統一したのは織田信長です。又、戦国最強とうたわれたのは、上杉謙信、武田信玄でした。毛利元就は中国十カ国の、島津義弘は九州半分をおさめる大大名になりました。しかしもう一人影の戦国大名がいました。彼こそ戦国第一の実力者でした。その名を本願寺顕如といいました。旧仏教では庶民は救われないとして、鎌倉新仏教が興りました。なかでも法然の浄土宗は弟子の親鸞が、越後に流刑になったこともあり、北陸、関東で民衆に支持されました。戦国時代になると信長をはじめ、多くの戦国大名がこれらの一向宗徒を弾圧しました。それは自治を求めて団結し、支配体制をおびやかすものでした。本願寺十一世顕如は、石山本願寺によって信長相手に十年間戦いました。柏崎地方の真宗寺院も門徒を引きつれて、本願寺に入りました。浄土宗の一派で一遍を祖とする時宗、前述の北条専称寺は本山清浄光寺の文書に記載された有名な道場でした。しかしこれらの信仰も織田信長、比叡山焼打ち、本願寺顕如の石山退却、秀吉による根来衆、高野山弾圧により、沈黙していきました。



部活で燃えろ　進路で輝け
新潟産業大学附属高等学校
校長・理事　小野　敏夫（高16）
柏崎市安田二五一〇—二

本間内科医院
本間　保（高21）
柏崎市北半田一—一—四八
TEL（二二）三六六六

石高建設株式会社
代表取締役社長　土肥　克知（高20）
柏崎市三和町三番三七号

東京柏会副会長
辯護士　今井　健子（高13）
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里二丁目二五番一—804号
ステーションガーデンタワー
TEL 〇三—三八九一—七五一五
FAX 〇三—三八九一—五三三三

矯正歯科・歯科・小児歯科
きたざわ歯科
かみあわせ研究所
北澤　智昭（高23）
柏崎市幸町一—七・TEL(22)六二三一

小形商工株式会社
代表取締役社長　小形　明彦（高16）
新潟市東区浜谷町二丁目三番六七号
TEL 〇二五（二七四）三二五六

株式会社 阿部建設
取締役会長　阿部　弘一（高7）
代表取締役　阿部　尚義（高35）
〒945-0047 柏崎市比角一—三—一六
TEL（〇二五七）二三—四一七三
FAX（〇二五七）二三—七六八四

㈱会田写真館
スタッフ一同
柏崎市扇町一—一八
TEL 二三—六二四八

株式会社 植木組
取締役会長　植木　康之（高15）
取締役社長　植木　義明（高23）
新潟県柏崎市新橋二番八号

割烹 みずち
水地　学（高41）
柏崎市柳橋町二—一四
TEL（〇二五七）二二—二四五五
FAX（〇二五七）二二—一九二一

同窓会に感謝

前柏崎高等学校長　**林　克久**

平成25年度末に、柏崎高等学校長を最後に定年退職致しました。在職中は、土田会長様を始め同窓会の皆様から、公私にわたり格別なご指導とご厚情を賜り、感謝申し上げます。2年の在任期間中の課題は、SSH事業の発展と本校志願者の増加でした。10年ぶりに勤務校に戻り、自立して柏高生としての自覚を持つ生徒と、進学指導や部活動指導に頑張っている教職員の姿を見て、達成できると確信しました。同窓会やPTAのご支援を得て、ICT教育の推進、魅力を発信するHPの改訂と活用、地域や中学校への本校のPRを積極的に行うことができました。SSH事業は必ず学力向上や国際性の育成に繋がると、全校体制で取り組みました。屋久島や先端科学研究機関などへの県外研修、英語による科学実験、小中学生への授業、課題研究発表会、韓国科学重点学校との交流などを通じて理数コースの生徒が自信を持ち、普通科生徒も巻き込み新潟県のSSH校をリードする存在となっています。又、今春の卒業生は医学部医学科複数合格、難関大学合格者の増加、国公立大学合格100名突破と大きな成果を上げてくれました。

〝Progressing since 1900〟、文武両道で進歩し続ける柏崎高等学校を今後とも応援しています。ありがとうございました。

『ガッチ会』掛け軸 力石氏に寄贈

前号で紹介しました「柏中力山藤（ガッチ）会」の掛け軸を、力石先生の長男の方が御覧になり、是非父親の記念の品として頂けないかという申し出がありました。中42回卒の村山照家氏に伺ったところ、是非そうして欲しいというご返事があり、寄贈いたしました。

高第16回（十六夜会）
卒業50周年記念同期会のご案内

日時　平成26年9月7日(日) 8日(月)
集合7日(日)14：00　解散8日(月)15：00
柏崎駅よりバスにて送迎します

会場　懇親会　岩室温泉　ホテル大橋
TEL　0256-82-4125
二日目　弥彦等周辺の観光予定

会費　20,000円

※ご連絡は別途案内状記載の幹事（代表 村田）宛

運営費納入のお知らせ

（平成25年6月1日〜平成26年5月31日）

◆ 同窓会運営費（会費）を納めていただき、誠にありがとうございます。
◆ 会の円滑な運営のため、今後とも皆さまのご協力をお願い申し上げます。

卒業回(卒業年/月)	件数	納入額
〔旧制中学校〕		
26回(昭和5/3)	1	2,000
27回(昭和6/3)	0	0
28回(昭和7/3)	1	2,000
29回(昭和8/3)	1	2,000
30回(昭和9/3)	0	0
31回(昭和10/3)	1	2,000
32回(昭和11/9)	0	0
33回(昭和12/3)	1	2,000
34回(昭和13/3)	4	8,000
35回(昭和14/3)	5	10,000
36回(昭和15/3)	5	10,000
37回(昭和16/3)	4	8,000
38回(昭和17/3)	8	16,000
39回(昭和18/3)	10	20,000
40回(昭和19/3)	11	22,000
41回(昭和20/3)	18	36,000
42回(昭和20/3)	25	49,000
43回(昭和21/3)	6	12,000
44回(昭和22/3)	16	32,000
45回(昭和23/3)	15	30,000
46回(昭和24/3)	3	6,000
〔高等学校〕		
1回(昭和24/3)	10	20,000
2回(昭和25/3)	25	50,000
3回(昭和26/3)	39	78,000
4回(昭和27/3)	61	121,000
5回(昭和28/3)	49	106,000
6回(昭和29/3)	74	147,000
7回(昭和30/3)	58	122,000
8回(昭和31/3)	60	122,000
9回(昭和32/3)	61	122,000
10回(昭和33/3)	57	114,000
11回(昭和34/3)	69	138,000
12回(昭和35/3)	56	111,000
13回(昭和36/3)	58	116,000
14回(昭和37/3)	76	153,000
15回(昭和38/3)	57	114,000
16回(昭和39/3)	69	140,000
17回(昭和40/3)	65	132,000
18回(昭和41/3)	100	205,000
19回(昭和42/3)	68	136,000
20回(昭和43/3)	88	176,000
21回(昭和44/3)	67	133,000
22回(昭和45/3)	63	126,000

卒業回(卒業年/月)	件数	納入額
〔高等学校〕		
23回(昭和46/3)	58	116,000
24回(昭和47/3)	48	98,000
25回(昭和48/3)	45	90,000
26回(昭和49/3)	36	74,000
27回(昭和50/3)	55	110,000
28回(昭和51/3)	60	120,000
29回(昭和52/3)	36	74,000
30回(昭和53/3)	47	94,000
31回(昭和54/3)	41	84,000
32回(昭和55/3)	18	36,000
33回(昭和56/3)	30	60,000
34回(昭和57/3)	19	38,000
35回(昭和58/3)	32	64,000
36回(昭和59/3)	23	54,000
37回(昭和60/3)	23	46,000
38回(昭和61/3)	21	42,000
39回(昭和62/3)	13	28,000
40回(昭和63/3)	18	36,000
41回(平成元/3)	14	28,000
42回(平成2/3)	20	42,000
43回(平成3/3)	12	24,000
44回(平成4/3)	12	24,000
45回(平成5/3)	16	34,000
46回(平成6/3)	6	12,000
47回(平成7/3)	14	28,000
48回(平成8/3)	4	8,000
49回(平成9/3)	5	10,000
50回(平成10/3)	6	12,000
51回(平成11/3)	5	10,000
52回(平成12/3)	4	8,000
53回(平成13/3)	10	20,000
54回(平成14/3)	7	14,000
55回(平成15/3)	7	14,000
56回(平成16/3)	10	20,000
57回(平成17/3)	7	14,000
58回(平成18/3)	9	18,000
59回(平成19/3)	10	20,000
60回(平成20/3)	14	28,000
61回(平成21/3)	12	24,000
62回(平成22/3)	8	16,000
63回(平成23/3)	16	34,000
64回(平成24/3)	29	58,000
65回(平成25/3)	25	49,000
計	2,370	4,784,000

がんばれ！同窓生⑦

四っ蔵飲み鯛

新しい晩酌セットを世に送り出した

白川信彦さん（高25回卒）

お疲れ様です。一杯いきませんか。
四っ蔵飲み鯛
晩酌セット
2,000円
晩酌セット提供店
鯛料理
郷土料理
4/1▶6/30

▲市観光交流課長の白川信彦さんが自らモデルとなった晩酌セット「四っ蔵飲み鯛」のポスター（中央）

◀「四っ蔵飲み鯛」のパンフ。

柏崎市産業振興部観光交流課の課長を務める白川信彦さんは高25回卒。これまで市民活動支援課、復興支援室、商工振興課、子ども課などを歴任してきた。観光交流課長として2年目を迎え、新晩酌セット「四っ蔵飲み鯛」を4月1日から販売開始。多くの酒飲みから支持を受けている。

市内には酒蔵が4つある。阿部酒造、林酒造場、石塚酒造、原酒造。この4つの酒蔵の地酒と鯛料理1品、郷土料理3品を付けて2000円で市内11の協賛店で売り出している。発売開始の4月の一カ月間の実績合計は413セット。飲み物の追加は100％で料理も約7割で追加があるという。本来、セットの2000円では採算を取るのが難しいが、追加分を合わせれば、採算ラインに到達する。白川さんは「恐らく客単価は5000円程度にはなっているのでは」と話している。副菜には笠島もずく、山菜天ぷら、のっぺ、鯛かぶと揚げ、鯛の煮付けなど、郷土色豊かな点も特徴。客の反応は「とてもよい」が約1割、「よいと思う」が約7割。無回答が2割。「飲み比べを楽しめるのでよい」「料理にボリュームがあり、楽しめる」などの声があり、好評だ。一方、提供する店としては「他に予約が入っていると、晩酌セットには手間がかかり大変」という声も。

白川さんは、この晩酌セットを広めるため、民間との協力体制を作り「かしわざき味堪能事業実行委員会」を立ち上げた。白川さんが課長の市観光交流課が事務局。自らポスターの顔となってPRに努めている。

白川さんは「地元の食材を利用した料理を紹介する『風土食カード』が最初にあった」と、その発端を明かした。東京で行った試食会でも好評を得た。しかし、その時点で示した3000円の料金は「高い」との批判を受けた。2000円でのスタートは英断だった。

PRに用意したポスターは400枚。パンフレットは約5000枚。市内の提供店のほか、柏崎観光協会、ホテル、旅館などで手に入る。

白川さんのモットーは「笑顔で楽しくみんなでやる」。実行委員会では一緒になって考えることを基本としている。

「四っ蔵飲み鯛」は当初6月30日で終了の予定だったが、実行委員会では、今回の反省点を踏まえた上で時期をみて再開の方針だ。

白川さんは別に中学生を対象にしたキャリア教育の講師の顔を持つ。10年前に始まったキャリア教育。ニート・フリーター教育も行っている。

もう1つ。「柏刈第三野球部」の代表世話人。地元高校野球部を目指す中学生3年生の指導を行っている。他のスタッフ5人とともに毎年40人の中学生とともに汗を流して12年。目指すは柏崎からの夏の甲子園出場の夢の実現だ。

日本メッキ工業株式会社
取締役社長　関矢　浩章（高23）
柏崎市田塚三—二—六二
TEL 二一—二一七三

原酒造㈱
原　吉隆（高28）
柏崎市新橋五—十二

辯護士　髙橋　巽（高15）
事務所 〒951-8141 新潟市関新二丁目一番七三号
新潟ダイカンプラザ遊学館三〇七号
TEL 〇二五—二三三—七七〇〇
FAX 〇二五—二三三—七七〇〇

新潟産業大学
学長　北原　保雄（高7）
副学長　広川　俊男（高20）
事務局長　金子　和裕（高26）
〒945-1393 柏崎市軽井川4730

新沢歯科医院
新澤　秀樹（高22）
柏崎市穂波町二番二号

柏崎日報社
代表取締役会長　山田　明彦（高18）

郷土のたより
越後タイムス
編集発行人　柴野　毅実（高22）
TEL㉓六三九六　FAX㉓六三九五

佐藤塗料株式会社
代表取締役社長　佐藤　裕幸（高20）
代表取締役会長　佐藤　信義（中39）
柏崎市駅前二丁目一番四三号

辯護士　髙野　毅（高30）
事務所 〒940-0084 長岡市幸町一丁目三番一〇号
高野・星野法律事務所
TEL 〇二五八—三五—四四四四
FAX 〇二五八—三五—四四七八

㈱ライブ商事　新車 中古車 販売・整備
代表取締役　品田　優（高16）
柏崎市小金町十一番六七号